

2022年度 第2回 苦情処理委員会

日時 12月14日(水) PM2:00~3:00

場所 ちどり保育園 会議室

出席者 第三者委員(原田秀一)(井上准子)

園長(井上邦子) 主任(寒川美穂)

《議題》

1) 今まで(7月~12月)の経過報告

◎新型コロナと保育

新型コロナ対応も3年目となる。オミクロン株も次々と変異をくり返し、終息の兆しは見えない。現在も第8波に入っている。しかし、新型コロナについて、解明されてきたことも多く、基本的な感染防止対策をしながら、引き続き発達保障としての保育、保護者との連携を工夫しながら行っている。

新型コロナ対応については、この間も葛藤、試行錯誤の連続だったが、制限のある中でも「何を大切にしたいか？」を考え、新たな発想や工夫で取り組むきっかけとなっている。

濃厚接触者の取り扱いについては、同じクラスの中で陽性者が判明した場合、園が濃厚接触者を特定し登園自粛を要請しなければいけないケースが多々あり、保護者からの苦情もあった。しかし、11月24日付で行政対応が変わり、園として濃厚接触者に登園自粛の要請はしなくなった。保護者の就労保障の面では大きな変更である。

現在の園、地域の感染状況を報告する。

◎保護者との連携

・コロナ禍では、保護者同士が集まる機会が持ちにくく、繋がりが持ちにくいことが課題としてあった。子どもの姿から成長を喜び合い、保護者も子育て交流することは大切なので、感染状況をみながら短時間でも顔を合わせて話せる機会を作っていった。

この秋には、4年ぶりに幼児クラスのみだが、箱崎公園での「わくわく広場(運動会)」を開催することが出来た。

※ちどりの保育の歴史(保育理念)は、コロナ禍だからこそ、ますます重要なテーマになっている。引き続き「共育て共育ち」を大切に保護者との連携で保育運営をしていく。

- ・行事や係活動での父母の会との連携
- ・お父ちゃんとの連携(竹馬づくり、平和夏まつり等)
- ・障がい児保育、育児支援、保護者の心のケア、虐待、異文化コミュニケーションの対応。

◎個別対応の必要な家庭

- ・ 専門機関との連携（区役所子育て支援相談係・児童相談所・療育センター 等）
- ・ 母親の育児が困難な家庭⇒ 乳児院に入所のケースあり。定期的な電話連絡でフォロー。
- ・ 外国籍の園児⇒ ベトナム、ネパール 等。個人面談
- ・ さぼ〜と保育の対象児等⇒ 定期的な個人面談

◎安全と衛生の対策・危機管理

- ・ 日常の保育環境における安全点検と対策（園庭・室内）
- ・ ヒヤリハット、事故の検証と情報共有⇒ 2022年度の傾向と対策
- ・ 避難訓練（火災・水害・地震・不審者 等）

※不審者対応については、昨年の避難訓練の気づきや課題をふまえ、近日中に実施予定。環境整備、職員、保護者との連携等、具体的な対策を整理する。

- ・ コロナ、ノロウイルス対策

● 園児の園外への抜け出し事例

9月12日 夕方

5歳児2名が正門のカギを開け道路に出るという事例が発生した。幸い大事には至らなかったが、重大なヒヤリハットとして、園では事例の検証をし、再発防止について確認した。保護者には、事例の報告と正門のカギの開け閉めについてのルールも再確認した。

◎ 不審者の侵入を防ぐためにも正門に電気錠を付ける。1月に工事予定。

● 一人ひとりを尊重した保育をめざして

- ・ 全国的なニュース「園児置き去り事故、不適切保育」を受けて。
 - ⇒ 法人の綱領、保育要綱「一人ひとりを尊重した保育」を再確認、徹底する。
- ・ 人権をまもる行為、言葉かけ、保育を再点検する。
- ・ 保育内容の充実、職員間の連携
- ・ 国、自治体に保育制度（職員配置基準）の改善を要求していく。
ゆとりをもって保育ができる体制づくりを！（署名、対市懇談）

◎ 保育方針の理解

- ・ 異年齢保育実践の積み上げ。（3.4.5歳児は6年目・1.2歳児は4年目）
実践の中で見えてきた子どもの姿（子ども同士の育ち合い）や、その中で何を大事にしたいのかを保護者に発信していった。まだまだ実践を積み重ね、保護者と共有していく必要がある。信頼関係を基盤に保育の専門的力を高めていく。
- 保護者から、子ども同士のトラブルやかみつきについて数件の苦情、心配があった。
 - ⇒ 保護者の理解を得る為には、子どもの姿（保育の実践）からである。

子どもの発達や仲間関係などもふまえ、大切にしている保育を伝えながら再発防止に努めていく。

- ・法人の綱領を保護者と共有する。「子どもたちの健やかな成長を保障する平和で民主的な社会」の実現のためにも、今の情勢を知り考え、保育子育て、平和についての思いを語り合い、子どもたちのしあわせを願うすべての人たちと力を合わせていく。➡平和の集い（7月）
- ヒヤリハット、怪我の傾向と対策

◎ 地域との関係

- ・ 日頃から近所の方には、騒音、駐車場の混雑等で迷惑をかけているため、園で子どもたちの様子を書いたニュースと菓子を配った。（8月）
定期的にニュースを配っていく。（年度末）